

2026年9月1日
株式会社エフピコ

エフピコ・京成ストア・エフピコインターパック 「エコストア協働宣言」！ 「ストア to ストア」で地域のリサイクルを推進

～4者一体の水平リサイクル強化により、27年2月期にCO2排出削減量92tを目標～

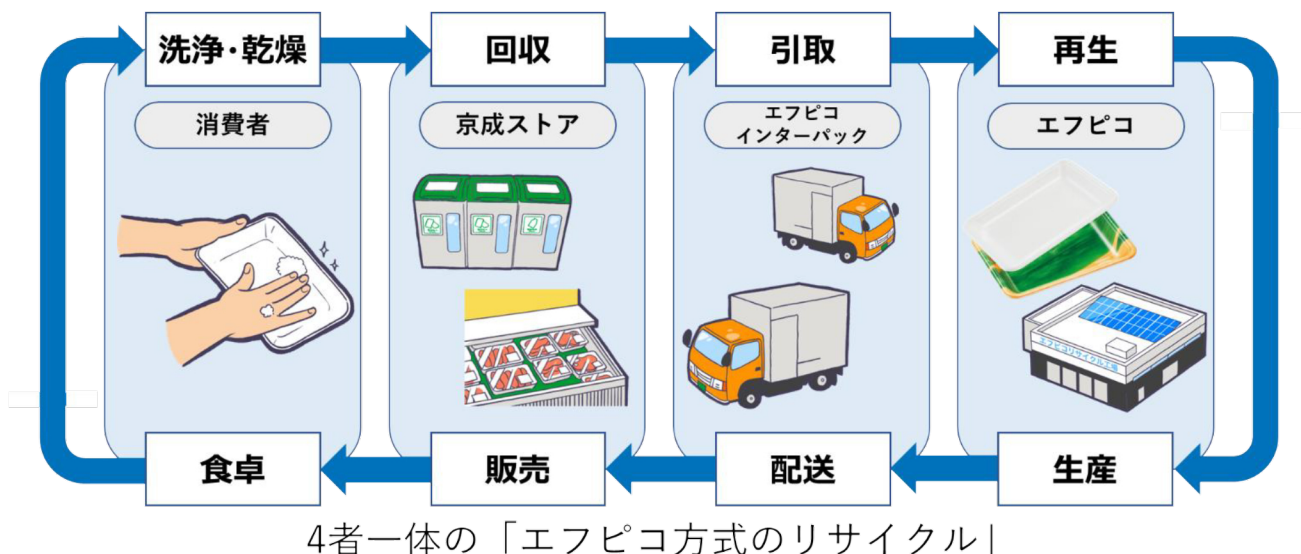
株式会社エフピコ（代表取締役会長：佐藤 守正、以下「エフピコ」）と、千葉・東京にスーパーマーケット「リブレ京成」等を展開する株式会社京成ストア（代表取締役社長：山田 耕司、以下「京成ストア」）、ならびにエフピコインターパック株式会社（代表取締役社長：小澤 克巳、以下「エフピコインターパック」）は、地域の環境負荷低減と持続可能な社会の実現を目指し、「エコストア協働宣言」を発表いたします。本協働は、京成ストアが展開するスーパーマーケット20店舗において、食品トレーの水平リサイクル「ストアtoストア」の取り組みをさらに強化・拡大するものです。



■宣言後も継続する取り組み

京成ストアでは「お店がその地域のエコリーダー」となることを目指し、店舗に設置した回収ボックスを通じてお客様から使用済み食品トレーやペットボトルの回収を行っております。回収された資源はすべてエフピコで再生され、「エコトレー」などのエコ製品に生まれ変わります。これらの製品を再び京成ストアの店舗で使用する、「ストアtoストア」の水平リサイクルを今後も継続して実践してまいります。

包装資材・物流を担うエフピコインターパックは、店舗への納品配送の帰り便を活用して使用済み食品トレーの引取りを行っております。消費者の皆様、スーパーマーケット(京成ストア)、ディーラー(エフピコインターパック)、メーカー(エフピコ)の「4者一体」で協力し、地域におけるリサイクルの輪を強力に推進します。



■宣言により新たに強化する取り組みと目標

京成ストア店舗でのエコ製品使用により、26年2月期は86tのCO2排出削減に貢献いたしました。この度の活動強化により、27年2月期の目標として、CO2排出削減量92tの達成を目指します。

エフピコ、京成ストア、エフピコインターパックは、これからも「お店がその地域のエコリーダー」となることを目指し、お客様の暮らしに寄り添いながら、地域社会と共に持続可能な循環型社会の実現に貢献してまいります。

【ご参考】

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環、及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6037 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー37階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設立:1962年7月

H P:<https://www.fpc.jp/>

【リサイクル特設ページ】 [エフピコ みんなでリサイクル](#)

<株式会社京成ストア>

所在地:〒272-8514 千葉県市川市市川3-30-1

代表者:代表取締役社長 山田 耕司

設 立:1973年12月

H P:<https://www.keiseistore.co.jp/>

<エフピコインターパック株式会社>

所在地:〒263-0016 千葉県千葉市稲毛区天台6丁目6番1号

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 小澤 克巳

設 立:1968年10月

H P:<https://www.fp-interpack.jp/>

以 上